



早稻田大學用箋

もろもろと行要なり
一七五の見通しを一年百強なるもの事柄上可
中野せつゝ二二年と續く等々をみな大敗
と爲し今年にけりやせのつて行員切の
方よし

二三枚

高野博士の御筆の御書
おのりて御筆の御書

明治 年 月 日

本部電話 番町一、三四〇番 五〇九番
高等理科電話 番町一、六七三番

早稻田大學用箋

國民教育の中心を二三十年の間に
移し利と決定し、其の始末は
一、この計画を自ら作り、自ら行
はる。其の責任を自ら負ひ、自ら
要する。責任は自ら負ひ、自ら
力給ふ。時を有る者、自ら負ひ、自ら
一、國民教育の中心を二三十年の間に
移し、利と決定し、其の始末は
おのりて御筆の御書

明治 年 月 日

本部電話 番町一、三四〇番 五〇九番
高等理科電話 番町一、六七三番

早稻田大學用箋

右の通り国民教育の中心を二三十年の間に
移し、利と決定し、其の始末は
おのりて御筆の御書

明治 年 月 日

本部電話 番町一、三四〇番 五〇九番
高等理科電話 番町一、六七三番



一帯を我が國と大融る能く今日物も此の
のちりしりやのちるる出物も此のちるる

明治 年 月 日

本部電話 番町一、三四〇番 五〇九番
高等豫科電話 番町一、六七三番

宣言

(國民教育青年講習記録叢刊に就て)

今上陛下御即位よりせられたる、初、天地神明に告
げて五箇條の御誓文を宣らせたまひ、且つは御宸翰を
て天下億兆に示して、
列祖の御偉業を継述し、一身の艱難辛苦を問はず、
親ら四方を經營し、内徳を安撫し、遂に萬里の波
濤を拓開し、國威を四方に宣布し、天下を萬岳の安
きに置かんことを欲す
と仰せ下されしより、かた、萬葉の尊さを以て躬と

國政の刷新、國運の發展に大御心を碎かせられ、遂に
憲法を宣布せしめ、皇座と皇に俱に國家の責任を
かたせ給ふの聖旨を以て、

朕が親愛する所の臣民、即ち朕が祖宗の德撫慈養し
たまはし所の臣民の子孫たるを念ひ、其産物を増
進し、其懿徳良能を普達せしめむことを願ひ、又其
翼賛に依り、皇に俱に國家の進運を扶持せむことを望
み、云々

との詔を下したまひませ。

我等は 陛下の忠良なる臣民として、 陛下の聖旨

に答へ奉らんがため、かの、奮勵努力して、其懿徳
良能の發達を計り、以て陛下の大業を翼賛して、國
家の進運を扶持せしめむことを願ふ。夫れを憲國の國民は

翼賛に依り直に僕に國家の進運を扶持せむことを望
み、云々

との詔を下したまひませ。

我等は陛下の忠良なる臣民として、陛下の聖旨

に答へ奉らんがため、おのゝ奮勵努力して、其懿徳
良能の發達を計り、以て陛下の大業を翼賛して、國
家の進運を扶持せまらばしむ。夫れは憲國の國民は
各自みち國家の大事に當りて責任を八つの資格あり。
この資格を完うせんとせば、先づ國民たるの知識道德
と常識とを備へざるべからず。陛下が常に臣民の教
育に教慮を勞せられ、その懿徳良能の普達を希けさせ
たまひの御旨は、實にこゝに存すること、付度し奉るも
いと畏こま限りなり。

よれば我等臣民たるもの必すや我が帝國の國體を知
り、民族の資性を知り、また現代の制度を知りて、更
に帝國の將來を察し、大國民たるの理想を抱かざれば
實現に努めざんばあらずなり。かくてこれ皇祖こ
りかた三千年の光榮ある歴史を継ぎて、更に偉烈なる
國運を築くことを得たまはれ。

予深く此に慮の所あり、曩に開國五十年史を撰びて
國體の大本を説き、我が國運の由つて來る所以を明か
にし、國民の本分を示して之を中外に公表したり。然
れども此書や浩漭にして、一般の鑄造に便ならざるも
のあり、是を以て昨春新に國民讀本を著して、我が

國體と國民性とを略述し、國家組織の大綱と國民の權
利義務とを概説し、憲政の基下に在る國民の守らば忠
君愛國の念に新意義あることを明示し、以て國民本分

國體の大木を説き、我が國運の由つて來る所以を明かにし、國民の本分を示して之を中外に公表したり。然れども此書や浩瀟にして、一般の繕讀に便ならざるものあり、是を以て昨春新に國民讀本を著して、我が

國體と國民性とを略述し、國家組織の大綱と國民の權利義務とを概説し、憲政の準に在る國民の守りべき忠君愛國の念に新意義あることを明示し、以て國民本分の實行を促し、大國民たるの理想を唱道せり。

予は更にこの國民讀本所説の主張を表明せんが爲に、昨年末朝野諸士の助力を得て國民教育講習會を創設し、その第一回講演會を開きたるが、當時機に應じて之を再催せんと欲するのみならず、今やまた一步を進めて、義務教育を了りたる全國數百萬の青年男女と相提携して、廣く國民教育講習會員を糾合し、青年講習録

を頒ちて、國民的常識を啓蒙し、文明の新知識の練磨を計らんとする。微意實に同志と協力して國民教育の普及完成を企圖するにあり。

予幸に生まれて盛世に逢ひ、夙に 聖明の恩寵を蒙りて、親しく維新の皇業を仰ぎ奉り、爾來四十有餘年不肖を以て身を朝野の間にあらずや、一意常に國運の隆昌を希ひ、國民の教育を進むるに存し、以て聖恩に答へまつらんことを期せり。而して今や、先來の一身を挺く全國の青年諸子と共に國民教育講習會を組織して君國のたんに國民教育の普及完成に當らんとする。

庶幾くは同志の男女諸子翕然として集まり奉り、以て先生が微志を賛せよ。

明治三十四年三月 白壽 大隈 重吉

の隆昌を希む、國民の教育を進むるに存し、以て醒因
に答へまつらんことを期せり。而して今も先來の一
身を挺し全國の青年諸子と共に國民教育講習會を組織
して君國のため國民教育の普及完成に當らんとす。
庶幾くは同志の男女諸子翕然として集まり奉り、以て
先生が微志を賛せよ。

明治三十四年三月

伯爵 大隈 重信

青年講習會課程の梗概

口繪

玉の御聲

御製御歌の解説

高橋男爵

訓話

伯

憲法講話

法律講話

行政自治講話

軍事講話

財政經濟講話

府社會政策講話

實業講話

科書講話

歴史講話

青年講習録課目の梗概

口繪

玉の御聲

御聲、御歌の解説

高橋聖典

訓話

伯

憲法講話

法律講話

行政自治講話

軍事講話

財政経済講話

附社会政策講話

實業講話

科学講話

歴史講話

地理講話

國語、漢文講話

作文講話

社交講話

國民精神講話

課外講話

雜記系

時報

通信

和歌俳句選

質問應答